

岡田宮

宝永4年(1707) 貝原益軒書

第56号

平成25年11月吉日

発行 岡田宮社務所

郵便番号 806-0063

北九州市八幡西区岡田町1番1号

電話 (093) 621-1898

FAX (093) 621-5330

ホームページ <http://www.okadagu.jp/>

Eメール okadajinja@jcom.home.ne.jp

新しい回廊と手水舎が完成しました。

平成26年は樹木の移植を行います。



岡田神社御改築第三期工事 25年に一度の御奉賛

この世に生きた証として、古郷に御名前を残しませんか

奉賛金額 一口 一万円
(何口でも結構です)

三口以上の奉賛者は記念碑に名前を刻みます
五口以上の奉賛者は竣工奉告祭にご招待します
竣工奉告祭は、平成二十七年十月を予定しております

目次

第十九回 岡田神社書道展 …………… 2
神社なぜなぜ問答 56 …………… 3
郷土地名考 56 …………… 3

年末年始の行事案内 …………… 4
平成26年の厄年 …………… 4

第十九回 岡田神社書道展

総代会会長賞

岡田宮賞

小1 彌勒 聖日
 小2 利光 哲平
 小3 秋山 ゆり
 小4 藤田 美咲
 小5 加地 紗彩
 小6 高村 陽笑
 中1 大瀨 綺奈
 中2 井上 優実

小2 三原 萌香
 小3 御手洗 圭都
 小4 三幣 真大朗
 小5 武田 絵美里
 小6 彌勒 暉仁
 中1 櫻井 里美
 中2 古橋 郁子
 中3 手嶋 結香

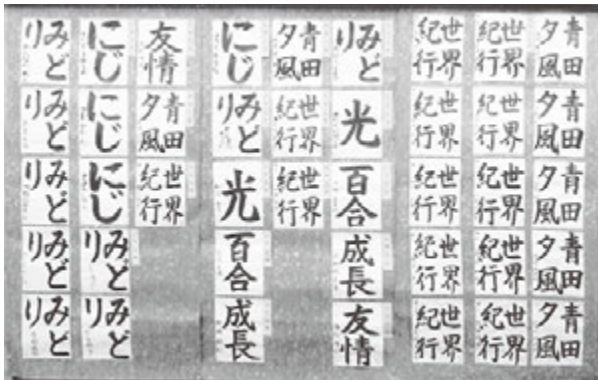
会 期 平成25年7月23日(火)
 ~29日(月)
 表彰式 平成25年7月29日(月)
 総出品点数 776点

特 選

小1 加地 陽菜
 小2 橋本 匡由
 小3 今村 由依
 小4 平野 初
 小5 渡邊 桃
 小6 伊藤 結菜
 小7 能間 怜
 小8 恒岡 優星
 小9 齊藤 聖大
 小10 松藤 彩乃
 小11 堀 翼沙
 小12 石黒 誠
 小13 有岡 優衣
 小14 中村 優里
 小15 御座岡 真愛
 小16 今村 樺奈
 小17 今村 優志
 小18 田島 紗
 小19 今村 理々紗
 小20 石橋 淑子
 小21 泉 早蘭
 小22 平田 陽菜
 小23 下田 敢介
 小24 宮本龍之介

小4 三嶋 千恵
 小5 多田 弘大
 小6 小島佳那子
 小7 浅井 結子
 小8 梅野 来美
 小9 森下 純麗
 小10 西辻 帆花
 小11 福永 祐子
 小12 重末 ひな
 小13 上田 花恋
 小14 齊藤 大己
 小15 角田伊央里
 小16 彌勒 眞緒
 小17 幸 愛実
 小18 坪井 蒼
 小19 永吉 萌
 小20 上野 蓮
 小21 木塚 咲良
 小22 保田 結衣
 小23 徳永 雛乃
 小24 鶴田 真唯
 小25 結城 花香
 小26 堀 桜萌
 小27 長濱 実央
 小28 草野 美雅
 小29 豊岡 愛理
 小30 鞍成 琴音

小6 武本 理来
 小7 伊波 恵伶
 小8 花田千咲季
 小9 鞍成 駿
 小10 宮本 杏菜
 小11 池田 穂香
 小12 山下唯里弥
 小13 松本 玲佳
 小14 江上 万葉
 小15 篠崎 莉奈
 小16 吉村 壮太
 小17 廣渡 侃樹
 小18 梁井 恵太
 小19 林 冴佳
 小20 納多由紀乃
 小21 真鍋那奈子
 小22 穴見 千尋
 小23 安倍 幸星
 小24 川原 悠里
 小25 多田 海帆
 小26 中島 彩香
 小27 東 未奈
 小28 脇野 佑哉
 小29 合屋 侑華
 小30 坂本すみれ
 小31 梅崎 彩華
 小32 大久保綾那



神社 なぜ 問答

(その56)



金品をお供える

ときの表書きの

書き方について

教えて下さい。

御神前に金銭や食物、お酒などをお供えする際に記す表書きには幾つかの書き方があり、「御神前」「御供」「玉串料」「御柗料」「初穂料」等の書き方が一般的です。「御神前」「御供」という表書きは説明するまでもありませんが、「玉串料」「御柗料」とは玉串や柗の代わりに、また「初穂料」とはその年に初めて収穫されたお米の代わりに、それぞれお供える料であることを意味しています。

このほか「上」や「奉獻」「奉納」

と書かれる場合もあります。「上」はよく神様や目上の方に対する御礼の際の表書きに用いられる語です。「上」はお神札（ふだ）・お守りなどの授与品や撤下神饌を入れる袋の表書きにも用いられていますが、この場合、撤下品は神前にお供えする際、「上」と記すのであって「上」とはあくまでもお供えをする神様に対して用いられている語ということができます。一方、お神札やお守りが御神霊の御加護を戴く尊貴なものなので丁寧さを表現するために「上」を表書きにしているとも考えられることもできます。

このほか、神式の葬儀のお供えに關しては「御霊前」や「玉串料」「御柗料」といった表書きが用いられます。市販の不祝儀袋には「御霊前」とあっても、蓮の花の文様が付いている場合がありますが、これは仏式用のものなので注意して下さい。表書きには、神事に用いられる以外にも冠婚葬祭を通じてさまざまな書き方があり、自らの気持ちを伝える意味でも大切なものといえることができます。



郷土地名考

56

旦過

由来は宗玄寺。倉府見聞集に「宗玄寺の前の橋を旦過橋という。珍しき名の様なれ共、是は此の橋の名に非ず。禪宗にて旅の雲水僧の暁帰る時、この橋まで送り出し候由、之によりて門前の橋を旦過橋と云由」と書いてある。

ルーツの宗玄寺は資本主義に追い立てられ、足立に移ってしまった。跡地は井筒屋の駐車場になっている。旦過橋も以前は木橋を立て替えた石造りの小さな眼鏡橋だった。旧電車通りに、旦過橋と直角にかかる橋はえびす橋。そばに瑜加神社・蛭子神社がある。



スタジオカラーズ
STUDIO COLORS
produced by 南写実館

北九州市八幡西区岡田町1-44
TEL 093-621-2080

■営業時間 10:00~17:00
■定休日 水曜日

撮影衣装・着付・ヘアメイク無料

¥10,500~

(四切1枚・台紙付)

七五三お出かけレンタル衣装

¥3,150~

(お一人様)

新作ブランド衣装など多数取り揃えております

年末年始の行事案内

●大祓

十二月三十一日

大祓とは、半年間の罪穢を祓い、清々しい心となって各自の勤めに励み一家の幸福を増進せんとする意義深い行事です。

形式に住所、氏名、年令を書き身体をなで息を三度吹き掛け初穂料(お思召し)と共に袋に納めて十二月三十一日までに町内の神社総代か岡田宮社務所迄お届け下さい。

●どんど焼祭

一月十三日(月・成人の日)

古くなったメ縄、門松等を焼納する神事。
地元の有志による餅つき、餅まき、黒崎祇園太鼓、神酒接待、ぜんざい等の諸行事が午前中に奉納されます。

●歳旦祭

一月一日

新しい年をお祝いし、今年も良い年であるようにとお願いする神事。

午前〇時より、恒例の「福餅」を先着順で五百個配ります。

●開運福引き

一月一日〜三日

一枚五百円でハズレなし。
一等は羽根ぶとんなどが当ります。
新年の運だめしにどうぞ。



平成26年算賀の年祝

(年齢は数え年)

還暦	六十一才	昭和二十九年生
古稀	七十才	昭和二十年生
喜寿	七十七才	昭和十三年生
傘寿	八十才	昭和十年生
米寿	八十八才	昭和二年生
卒寿	九十才	大正十四年生
白寿	九十九才	大正五年生

平成26年の八方除

四緑木星の方

生年	年齢(数え年)
昭和八年	八十二歳
昭和十七年	七十三歳
昭和二十六年	六十四歳
昭和三十五年	五十五歳
昭和四十四年	四十六歳
昭和五十二年	三十七歳
昭和六十一年	二十八歳
平成八年	十九歳
平成十七年	十歳

平成二十六年の厄年

(年齢は数え年)

厄年(男)

二十四才	前厄	平成三年生
二十五才	大厄	平成二年生
二十六才	後厄	平成元年生
四十一才	前厄	昭和四十九年生
四十二才	大厄	四十八年生
四十三才	後厄	四十七年生
六十才	前厄	三十年生
六十一才	大厄	二十九年生
六十二才	後厄	二十八年生

厄年(女)

十八才	前厄	平成九年生
十九才	大厄	八年生
二十才	後厄	七年生
三十二才	前厄	昭和五十八年生
三十三才	大厄	五十七年生
三十四才	後厄	五十六年生
三十六才	前厄	五十四年生
三十七才	大厄	五十三年生
三十八才	後厄	五十二年生

◆厄年大祭 二月節分日